

# マイケル J ローズ ニュースレター

## 2007 年 春号



お元気ですか？自然の中では新しい生命のサイクルが始まっています。  
桜の開花は終わりましたが、春を楽しまれていることと思います。

前号で書いたことですが、昨年の暮から起きている変化はパワフルに続いています。被害者意識はいらない、周りの目を気にしない、何事も善悪の判断はしない、過去にとらわれない・・・自分で決めてしまうと、そのように生きることが思ったよりも簡単にできることに驚いています。

最近、真理は、とてもシンプルと感じています。マイケルが、あなたは、あなたが思っているよりもはるかに、はるかに素晴らしい存在ですと、よく話しますが、本当に、はるかにをいくつも付け足したいくらい、素晴らしい存在であることが分かり始めました。マイケルが話してくれた自分を大切にすることや愛することの意味、生命の流れを信頼することの意味、すべてが一つであることの意味が、自分の現実自分が作っていることの意味が、より深い角度で見えてきています。

すべては自分を大切に、愛することから広がっていきます。  
大切に具体的な方法はたくさんあります。食べること、話すこと、行動すること、考えること、すべてにおいて自分を大切にする。体を大切に。ありのままの自分を受け入れる。自分の感じることを信頼する・・・

そうすると素敵な変化が起きてきます。  
益々、自分が大好きになります。自分を愛するようになります。  
その愛が、周りの人に広がり始めます。  
生きることが楽しくなります。平安が生まれます。  
その平安も、確実に周りの人に広がります。

私の母は、重度の認知症で、そのためトイレも、着替えも、食べることもすべて、介助が必要です。昨年、3月に父が亡くなったから、毎週火曜日、4時にデイサービスから帰る母を迎えて、トイレや夕食、着替えの世話をしています。体重が60キロある母なので、母に立つ意志がなければ、立たせることはできません。「立つよ」とか「トイレ行こうね」とか、言葉は理解してくれます。

ゆったりと流れる時間の中で、母との時間は私の愛を大きく広げてくれます。母の便が手についても、おしっこが手にかかっても気になりません。逆に笑いが出てきます。そんな自分が不思議です。おでこをごっつんとすると母は喜びます。そして、一緒にいると、ただ愛を感じるのです。母への愛というのではなく、私の中で愛が広がるのです。ただ、愛を感じて喜びが広がります。とても豊かな時間になるのです。

母と同居している姉夫婦との関係も変化してきました。姉は恐れや、強い不安、不信感を持つ人でした。私に対しても不信感をもっていました。それは、私の中の恐れ、不安や不信の反映でもありました。でもこの数年間で、力を合わせる、お互いに思いやることから、少しずつ愛と信頼を培ってくれているように感じています。穏やかになってきています。私の中の愛がよりシンプルになっていることの反映でもあります。母に感謝します。

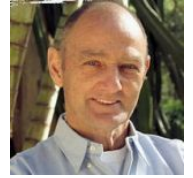
自分の現実自分が作っている。とても厳しいようですが、自分次第ということとてもシンプルです。ありがたいなって思います。皆さんも、自分を大切にして、素晴らしい現実を創造してください。

5月の20日過ぎから2週間ほどドイツへ行って、マイケルのニュービギニングに参加する予定です。  
夏の号で報告しますね。

たくさん愛をこめて やすみ

# マイケルのお話

by マイケル



不思議な天候が続いています。こちらでは、ここ 3・4 週間に 425 ミリリットルの雨が降り、長い旱魃が終わったように思われます。思われると、書きました。なぜなら、ここから車で1時間もかからないブリスベンでは、レベル 5 の給水制限がしかれているからです。こんなことは、初めてです。この辺りでは、たくさん雨が降ったにもかかわらず、広大な集水面積を抱えているブリスベンでは、雨がまったく降らなかったのです。

ブリスベンの巨大な貯水池の水量は記録的なまでに減少しています。我が家は貯水タンクを新しく 2 個増やしたので、屋根に降る雨を 7 個の貯水タンクにすべて貯めることができました。現在は、合わせて 20 万リットル余りの水があります。タンクの水は、ほとんどなかったので多量の雨にもかかわらず、まだ満タンではありません・・・が、ホッとしています。

雨の影響で庭は生き生きしています。おそらく咲くことのできる花はすべて咲いています。この夏の間、旱魃のせいで、庭はずっと停滞状態でした。それでも小さな灌木が 1 本枯れただけで、他の植物は、ただ待つ・・・待つ・・・雨を待っていました。私のサイト([www.michaelroads.com](http://www.michaelroads.com))を見れば、Serendipity と書かれたボックスがあります。そこをクリックすると、私の庭、家族、それから、私たちの動物の写真を見ることができます。

訳注) Serendipity(セレンディピティ): ペルシャの説話から生まれた言葉。偶然を必然に帰る能力。庭へと通じるマイケルの家の正門にもこの言葉が彫られています。

庭のセクションでは花を咲かせている低木の写真が見られます。ラン科のスタンフォピアは、その根から花を咲かせ、強いバニラの香りがします。多種あるラン科の花は長期間花を觀賞できますが、その花は5日間位しか咲きません。しかし、とても見ごたえがあります。トリーニーが大好きな花、ブルフェルシアは、別名「昨日・今日・明日」で知られています。その木は、昨日白い花を咲かせると、今日は薄い青色になり、明日その花は、濃い青色に変わります。強い香りはしますが、切花には向きません。トリーニーが大好きだったので、その植物を庭のそこ、ここに植えています。トリーニーが庭の何処にいようと、その花を見て微笑むようにと思ったからです。

トリーニーが仕事をしていた窓の向かい側には、その木が 3 本植わっています。そこは、今では娘であるトレイシーの事務室となり、彼女が、ホームページの Serendipity を作っているところです。

庭に咲く花々の香りは、夕方、特に強くなります。亜熱帯の花は、真昼の暑さがおさまった夕方に最も香ります。別名天使のトランペットと呼ばれるブルグマンシアもそれぞれにピンク、白、あんず色の花を咲かせる木が 3 本、私の寝室の近くにあります。だから、夜ベッドに入ったときは、素晴らしい香りが漂ってきます。

しかし、夜ベッドに入るのを楽しみにしているわけではありません。トリーニーがもういないことを思い出さずにはいられないからです。キスも抱擁もできなくなりました。今は、お互いにとても楽しんだことに感謝します。そのことには祝福を感じます。その上、私がどれほどトリーニーを愛し、尊敬していたかを彼女は知っています。

毎晩、ベッドに入るたびに、トリーニーと私はテレパシーを使って対話しています。気楽な対話です。本当に、ありがたいと思います。それでも、時々、心が和らぐよりも、喪失感、孤独感を感じて涙を流してしまうことがあるのです。

今というこの瞬間には、どんな痛みも悲しみも苦しみもないことを知っていますが、思い出した瞬間は、過去へ囚われ、心が痛みます。最高に素晴らしい思い出の数々さえも、悲しみをもたらします。思い出の場所へ行くと、必ず喪失の痛みを感じます。トリーニーと一緒に楽しんだ思い出の場所へ行くと、悲しみを感ずります。

時々、昔の思い出や最近の思い出を呼び起こすようなことがあると、涙がこみ上げてきます。すると決まって、「そっちへ行っちゃ駄目。今、ここにいるのよ。私がいることのできるのは、今、この瞬間だけ。あなたが意識して私と共にい

るときなの」と、トリーニーの声が聞こえます。

だから、できるだけ思い出に浸らないで、愛する彼女がいるこの瞬間を意識しています。

先日、大きな金物店の駐車場に停めてある車に向かって歩いていると、年配の二人連れが、購入したものを車の後部座席に仕舞いながら口論していました。お互いに腹を立てています。二人のそばまで来たとき、私は立ち止まりました。二人が元気で暮せる、それがどれほどありがたいことか伝えなかったからです。私が立ち止まったとき、二人は私を見ました。私も彼らを見つめました。30秒ほど、私は黙っていました。その間、二人は、ケンカしているのを見つけられた小さい子供のように、お互いを見ていました。

メッセージは伝わったと感じたので、何も言わずに車へと向かいました。二人ともただ黙ったままでした。

よく似た話が、あなたとあなたの連れ合いによく起きますか？

つまらない口論や、あら捜しや、批判で、二人の大切な時間を無駄にしないでください。

あなたの愛している人を賞賛し、その賞賛を実際に生きるのです。

愛に満ちて愛を分かち合うのです。相手に反応したり、後悔したりする人生を手放しなさい。

反応したり後悔したりの人生は、あなたを尊重していません。

あなたが表す愛はいつもあなたと共にあり、あなたはその愛の恩恵を受け取るのです。 愛と光の中で

## 質問と 洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身のより深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

**質問:** [トリーニーはいつも「手放し、手放し、手放し」と言っていました。マイケルも、よく言います。この手放しの正確な意味を教えてください。](#)

**洞察:** トリーニーは今も、よく手放し、手放しと言います。今は、殆んど私に対してですが…。あなたの質問に対して、かなり個人的な返事をします。おそらくあなたも知っているように、愛する妻を失って、私は打ちのめされました。殆んどいつもこの瞬間を私は生きていますが、時折、新しい痛みを誘発する何かが起こります…痛みを新しいと言えるならですが！トリーニーと私は、週7日のうち1日は遊びの日と決めていました。地元のプラザによく通って、映画を見たり、昼食を食べたりしたものです。今は、めったに行くこともなくなりました。しかし、昨日、面白いコメディ映画を見ようと勇気を出して出かけました。映画が終わり暗い館内を歩いていると、70代のカップルが丁度私の目の前で離れ離れになりそうでした。すると、2人はお互いに手を伸ばして、トリーニーと私がいつもそうしたように手を握り合いました。

喪失感が襲ってきて、泣きそうになりました。映画館を出たとき、胃にパンチをくらったようで、私は、みぞおちのところをしっかりと押さえてあえぎました。すると、トリーニーの声が内から聞こえました。「マイケル、手放し、手放し…手放すのよ」少し経って、肉体のある彼女にそばにいて欲しいという執着を手放しました。信じられないかもしれませんが、涙で彼女を取り戻せるなら、もうとっくに戻っていたと思います。そのくらい泣きました。

あなたが問題を抱えているなら、いずれ対処しなければなりません。もし、あなたが日々の生活で、その問題を抱えたままなら、それはすばやく潜在意識のレベルへと入り、不安となって深いところに留まります。一度、その不安が定着してしまうと、取り除くことが難しくなります。不安や心配は自信を蝕み、絶えざる悩みとなります。そうなったとき、あ

あなたの頭の中での会話は大変否定的なものとなり、不安と心配は鬱へと進行します。今日、鬱は病気の主要な原因となっています。

思考の中に、あなたの問題を持ち込まないようにするのはです。手放さない。

私も、日々、手放さなければなりません。

48年間、トリーニーと共に過ごしました。そのため、一緒にいたいという気持ちを、何度も手放さなければなりません。

もし、手放さないと、終わることのない悲しみと喪失への道を歩くこととなります。

過去を強く切望するとき、私は、さらなる痛みを作り出します。

あなたの問題がどんなことであれ、その問題を抱え続けるなら、それは重荷となります。

あなたの包括的な健康を蝕みます。心配するか。手放すか・・・両方はできません。

手放しましょう！！

質問：深い悲しみはどうしたらいいのですか？自分の現実を、自分が作っているのなら、悲しむことはさらなる悲しみを作り出すことですか？

**洞察：**そうです。悲しむことは、さらなる悲しみを作り出します。あなたのエネルギーを投入するものを、エネルギーは最も力強く創造します。エネルギーが悲しみに向かえば、更なる悲しみとなります。

しかし、それぞれのやり方で悲しむしかありません。悲しみほど個人的なものはないからです。愛する人が亡くなったとき、多く人は、やがてその出来事にも終わりが来ることを予想します。人々にとって、死は愛する人の最後であり、その後続く悲しみの期間があり、やがてその悲しみにも、終わりが来るのです。悲しみの期間は様々です。それは亡くなった人とどのような関係だったかによることが多いからです。トリーニーの両親は60年以上連れ添っていました。義母は連れ添った最後の20年間、ずっと咽頭炎の錠剤を常用していました。彼女の夫が亡くなった後、その薬は不要になりました！2人は、よい関係ではなかったのです。厳しく聞こえるかもしれませんが、夫が亡くなったことでの彼女の悲しみ、それは長い間一緒に暮らしてきた習慣を失ったことにありました。今、彼女は95歳で健在です。

悲しみについての別の側面は、次の事実直面することです。亡くなった人の悲しみなのか、あなたの喪失感からの悲しみなのかということです。ほとんどの場合、あなたの喪失感からきています。

私が現在執筆中の本は、「パンの目を通して」(訳注 パンは自然界を統括するスピリットです)という題です。その中には、最近トリーニーが私に話した彼女の近況についてたくさん書いてあります。今何処にいて、何をしているのか、それから、時間のない領域における彼女の生活について。そこでの彼女の様子は大変素晴らしいものです！素晴らしいを超えています。

だから、どうして、彼女のことを悲しむことができるでしょう。私は長年死があるとは思っていませんでした。死はありません。私たちは離れ離れに暮らしています。私は、基本的にはこの物質界に、トリーニーは目で見ることのできないメタフィジカルな世界にいます。

私は、喪失感から悲しめば悲しむほど、喪失感はつのります。だから私は悲しみを感じた瞬間には泣きますが、喪失感に焦点をあてることはしません。

悲しみが自己憐憫にならないよう注意することです。悲しみがいつ自己憐憫になるかは人によって違います。一度、自己憐憫に陥るとそこから抜け出すことは難しくなります。そうするとアルコールに依存したり、自殺がとても簡単な解決法に思えたりします。悲しみが自己憐憫になったとき、自己憐憫が潜在意識下のプログラムとなり、そのプログラムが惨めで憂鬱な人生を持続させます・・・そして、彼らには惨めさへの言い訳があります。愛する人を失ったからと。

私の場合は、トリーニーが亡くなって二日目に、悲しみが自己憐憫に変わる境界線まで行きました。何ヶ月もそうなっている自分に気づかない、あるいは自己憐憫という考えすらない人たちがいます。

あなたのエネルギーを投入するものを、エネルギーはもっとも力強く創造するのはです。

## 質問：何故、感情があるのですか？その目的は？

**洞察：**感情は人間の経験にとって、かなり特有なものです。私はこれまでメタフィジカルな存在に会っていますが、彼らに感情はありません。こう言った方がいいでしょう。私たち人間が持つような感情はないのです。私たちは密で重たい肉体をもっています。私たちはまた、肉体だけでなく他にも精妙な体をもっています。重さのない、目で見ることのできない体です。しかし、それらは本当のあなたである不滅のセルフにとっては肉体よりも大切なものです。肉体は、生まれ、成長し、老いて息を引き取ります。いわゆる一生の終わりです。

しかし、感情体は一つの人生から次の人生へ、またその次へと続きながら発達していきます。感情の目的と理由は、共感や、思いやりや、無条件の愛を育て表現する方法を学ぶことです。これは創造者となることに関わることです。

ここで、しかし本当の愛は感情ではないと言う必要があります。大いなる愛は創造の本質であり、スピリチャルなあなたの本質であり、創造主なのです。トリーニーのことで感情的になって悲しんでいるとき、それは愛ではなく、ただの喪失感です。愛は、失うものはないことを知っています。私の感情は私に成長するべきことがあることを教えています。どのように無条件の愛を行動に表わすかについてです。このことに問題はなく、私は前進しています。

私達人間は感情を感じることを学んでいるのに、感じる事があまり上手くありません。体のたくさんの痛みは、閉じ込められた感情からきています。決して表現されなかった感情、価値判断の中で批判された感情、感じないようにされた感情、報いられなかった感情、否定されてきた感情、喪失、痛み、怒り、罪悪感など、すべて閉じ込められたままです。そういった感情は肉体の中ではなく感情体の中に閉じ込められているのです。

忘れないでください。こういった精妙な体は、より高いより精妙なエネルギーで共振しながら肉体と同じ空間を占めているのです。

肉体の痛みを作り出すのは、感情体の不調和なエネルギーの共振からです。私たちの注意を引くための痛みは不調和の合図です。そのとき、感情体の不調和を見つめると、成長することができます。

感情は、スピリチャルな存在として成長するためにあります。現代医学は、包括的な取り組みから遠のいてしまったため、体に表れた不調和を切り取れば、治療できると信じています。長期的な見方をするとき、そうなることはほとんどありません。なぜなら、その不調和の原因が、感情体に留まったままであり、肉体に病気を作り出す不調和の波を送り続けているからです。

私たちは物質的な経験をしているスピリチャルな存在であると言われていますが、私はそうは思いません。肉体を通して感情的な経験をしているスピリチャルな存在であると思います。一日のどれくらい感情的な経験をしていますか？考えてみてください。そうすれば、私たちはいつも感情的な経験をしていることに気づくでしょう。

## オフィス便り by トレイシー・ローズ



ここサンシャインコーストは、快晴です。しかし、最近、425 ml の雨が降りました。すべての自然が雨を歓迎しています。たくさんの豊富な昆虫を食べる鳥たちも雨の恩恵を受けています。貯水タンク

は満タン近くなり、庭の植物はめざましく成長しています。ここ2週間ほどとても湿気の多い蒸し暑い日々でした。先日、野生動物病院へ向かう途中、ラジオの司会者も次のように話していました。「皆さん、今日も、大変暑くて湿気の多い日です。さあ、エアコンを一日中抱きかかえていきましょう」と。

雨が降ったので、暑さの中、私は殆どどの時間を父のサイト作りに費やしています。サイトに、ワクワクするような新しいページを二つ加えました。

一つは友人からの提案で始めました。ウェブマスターのレイの助けを借りて、旅程・行事のところに、カレンダーのページを作りました。カーソルを地名、たとえばオランダのところにあてて、クリックすると、そのページから、パンフレットと申込書をダウンロードすることができます。他の主催者たちも希望があれば、同様のページを作りますので、PDFフォーマットで情報をお知らせください。

二つ目は、Serendipity のページです。まだ、見ていない方は是非見てみてください。写真集です。私達家族の写真、我が家の動物、それから庭の写真を見ることができます。私は写真を撮るのが大好きです。

動物と言えば、ウォータードラゴンの卵がすべて雛に孵りました。最後に数えたときは、16匹の赤ちゃんがいましたが、とても早く動くので、正確に数えられたかどうかわかりません。今は、餌を十分に与えています。なぜなら、冬の間、爬虫類は、冬眠とよく似た状態になります。完全な冬眠ではなく、暖かい日には、日光浴のために外へ出てきたり、餌を食べたりするものもいます。彼らは殆どの時間、根囲いの下か、丸太の空洞の中で過ごします。ドラゴンの雛の写真を載せましたので見てください。

昨日、野生動物病院でタンゴトカゲを三匹もらいました。あなたがこのニュースレターを読む頃にはタンゴトカゲの写真も見られるかもしれません。彼らも冬は、おとなしくなります。

先日庭を歩いていたとき、私は小さな褐色の蛇を見かけました。その長さは40から50cmありました。その蛇は、まだ幼いブラウンスネイク(猛毒)か、成長したグリーンツリースネイク(無害)です。名前はグリーンですが、いろいろな色をしています。私が見かけた蛇はとても早く動き、ゴム草履しかはいていなかったもので、追いかけていませんでした。

蛇といえば、父は、私が無害のニシキヘビを居間で飼うことに同意してくれたところです。だから、ニシキヘビのことをもっと調べて、蛇用の素敵な囲いを買うつもりです。

個人的なことですが、母が亡くなってから、私は自分自身に対してとても厳しいことに気づきました。このことに気づくまでにしばらくかかりました。父と私自身が「幸せ」にいるために、知らないうちに無理していたのです。そのせいで、気づくまでに主に私の右半身(男性側です)にたくさんの打ち身や切り傷をつけてしまいました。

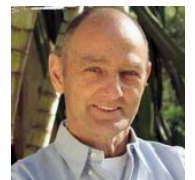
それで、今は、知人や友人からの招待を受けることにしました。今、定期的にマッサージも受けています。ジムにも通う予定です。実は、好物の食べ物を摂り過ぎたこともあります。

この事務室と野生動物病院での仕事が好きです。両方で、心と体を程よく使います。それでも、ジムはどうしても必要ですが。。

アメリカでのセミナー主催者であるキャロリン・シルバーが私たちのところに来ていました。とても楽しく過ごしました。後半は殆んど曇りか雨にもかかわらず楽しんでくれました。あまり日焼けできなかったので残念がっていましたが、彼女は私たちと一緒に雨降りを喜んでくれました。彼女が帰国して寂しくなりました。我が家の猫も、中に入って遊んだ彼女の化粧バッグを恋しがっています。

皆さんに愛を込めて

## 意識のコラム by マイケル



この夏、オーストラリアで、主に、ビクトリア州ですがひどい森林火災が起きました。私たちはブッシュファイアと呼びますが、アメリカではワイルドファイアと呼びます。コラムを書いているこの時期にやっと、その火事はおさまりつつあります。50日以上も燃え続け、広がり続けたのです。そのため、火事は何キロメートルにも及んで延焼しました。100万ヘクタール以上の森林を燃やし尽くしました。

この森林火災の話を不快に感じるかもしれませんが、こういった火事の現実、私たちの想像をはるかに超えたも

のです。ここオーストラリアでの森林火災は、過去 100 年間くらいで大きく変化しました。かつて森林火災は自然のサイクルの一部と見なされていました。土着の植物の種はとても硬く、火災があった後にのみ発芽するし、野草の殆どは、定期的な火事の恩恵を受けているからです。

数世紀前まで、私たちの森には、ピョンピョン跳ねて若葉を食べる動物がたくさん生息していました。カンガルー、ヤブウラビーやそのほか多種ある小形のウラビーです。これらの用心深くて巧みに逃げ回る有袋類の動物は、絶えず森林の地面に生える下生えの新芽を食べます。

しかし、白人の入植者たちの到来にともない、ヨーロッパ産の赤キツネが持ち込まれ、赤キツネは食べ物の量に比して繁殖しました。それに加えてオーストラリアにはいなかった猫が多数、野生化し、獐猛な捕食者となっています。

狐も猫も、小さい有袋類を殺しています。そのため灌木、ワツル(アカシア科)やタソック牧草地やイネ科の植物、自然の下生えなどが、外から持ち込まれ侵略的な雑草となった植物と共に、より太く硬くなっています。そのため、太く硬くなった下生えなどが火の余分な供給源となっています。その結果、今日の森林火災は以前よりもはるかに高熱になりました。以前は決して火事に負けなかった木々、火事で生育していた木々を絶やしてしまうほどの高熱で燃えるのです。すべてが変化しました。

1 時間に 80 キロの速度で広がる森林火災は、恐ろしいものがあります。森林火災が、自然にとって程よく好ましい時代は終わり、今やまったく破壊的なものになっています。

大火災が、野生生物にとってどういった影響を与えるのか見てみましょう。

コアラ財団のチームが燃え尽きた森林の跡を歩いて調査しました。その調査報告は次のようなことを書いていました。いたるところにコアラの死骸があつて、森を通り抜ける幹線道路には、約 20 メートルおきに死骸がありました。わずかに生き残ったコアラは、やけどと飢えとでストレスを受けていました。その地域の農夫たちは火がコアラを飲み込むときの激しい叫び声を何度も聞きました。そのため、農夫たちもショックを受け感情的になっています。袋ムササビ、多種の袋狐、多種の有袋類、フクロネコ、ハリモグラ、ウォンバット、ありふれた種も、めずらしい種も、たくさん死にました。無数の野鳥、オウム・・・挙げていくときりがありません。

何千もの羊を筆頭にたくさんの畜牛や馬が死にました。たくさんの家と農場も焼け落ちました。火災で人も数人亡くなりました。多くの家族が絶望に追いやられ、破産した農場もあり、田舎では自殺が続いています。それまでもオーストラリアでは 4 日に 1 人の割合で農夫が自殺していました。

包括的に見るとオーストラリアで起きていることは、全世界に影響を及ぼします。「第三世界」の貧困が、私たちには分からないかたちで私達に影響を及ぼしているように、です。無関心でいることは簡単です。しかし、私たちの知らないことが、私たちに影響を与えることはできるし、与えます。これが、一体性です。私たちはすべて、いわゆる良いことも悪いことも分かち合うのです。

それでは、このことをメタフィジカルな視点から見てみましょう。

第一に、原因と結果を考える必要があります。森林火災の場合、その原因はかなりはっきりしています。まず放火、落雷、それに、何百万ヘクタールという殆んど票につながらない地域への政治的な怠慢です。その結果として起きる火災は津波のようで、大きな変化と機会を押し進めます。破壊が再構築への道を拓きます。

私たちは大きな変化の時代にいます。生命は、極端へと動いています。人類の行動がこのことを表す完全な例といえます。それに人類の病気、気候の変化、火山活動が同時に起きています。太陽の磁気フィールドが 4 年前に北・南極を逆にし、地球の近くにある惑星にも気象の大変動が起きるだろうと、専門家が私に話しました。

変化！それは生命・人生そのもの。

私たちの将来で、私を煩わせるものと言えば、あらゆることが、変化しないでそのまま続くことです。

同じまま・・・それにはぞっとします。

私たちは変化を必要とします。大きな変化を！古いパターンの「私が、私が・・・」という分離の社会は、終わらせる必要があります。意識において、スピリチュアルに成長することが必要です。もし、このことに抵抗するなら、個人的にも全体的なレベルでも、急激に反発の圧力をもたらすことになります。

このコラムを読んでいるあなたは、いわゆる平均的な人ではないでしょう。あなたの人生に、スピリチュアルな成長と調和をもたらすよう努力していると思います。本当に少数派です！イエス・キリストは、多数に話しかけたのではなく少数に話しかけました。その少数のうちのごく少数が、イエスの話していることが分かりました。

今日、その少数はもっと少なくなっています！

私たちは、スピリチュアルな面で栄養不良になっています。そのことが病気を引き起こしています。そして、この状態が、大きな変化を引き寄せます。森林火災や津波は、破壊と死に関わることだけではありません。それは、この地球の基本元素が捻じ曲がっていることを示しているのです。意識のゆがみに対して、始めに反応するのは、いつものように地球の五大元素である火、空気、土、水そしてエーテルです。これらの元素は、生命を構成する基本です。直線の時間は、変化を測ることはできますが、それが、変化の原因ではありません。

意識の状態こそが真の変化の原因となるのです。

変化と反復は共存できません。私たちの人生の多くは、繰り返しの中に閉じ込められています。自然にとって固定化は自然なプロセスではなく、変化が自然なプロセスです。自然の反応の1つは限られた生き方へと特殊化し過ぎた-固定した-動物種の意識を撤退させることです。私たちはこの意識の撤退を、絶滅と名づけています。しかし、より偉大な現実において、絶滅のようなことはありません。死はペテン師です。絶滅は1つの考えに過ぎません。死も絶滅も直線の時間という幻想からきています。

確かに、特殊な種の中には、動物園や野生動物保全区で生き延びるものもいます。しかし、彼らは生命の自然なサイクルの外にいることとなります。

森林火災、洪水、サイクロン、火山活動は、変化を求める意識からの呼びかけに対する自然の応答です。劇的な変化は私たちの人生に強い衝撃を与えます。

しかし、エーテルからの応答はどうでしょう？これは、見えないものであり、感じるものです。すべての生命は、エーテルでつながっています。このつながりが、一番強いものであり、もっとも捉えにくいつながりです。

変化の呼びかけに応答しているのは私たちの魂です。

変化の呼びかけに応答しているのは、大いなる自然のスピリットです。

そして、変化のエネルギーを表現するのは土、気、火、水の基本元素です。エーテルが、これら元素の見えない支配者であり、このエーテルは物質的な体と、精妙なメタフィジカルな体をつなげています。つまり、天上界(heaven)と地上界(earth)をつなげています。私は、あえて天上界と地上界という言葉を用いて使いました。

何故なら、天上界とは意識の状態のことであり、地上界とは意識が表現されたものだからです。

森林火災や津波などに、ショックを受けることと思いますが、いつもメッセージは、あなたであり私に届けられているのです。あなたにとって身近な出来事ではなくても、それらはメッセンジャーです。

人々は変化を避けようとしていますが、変化は、あなたの人生でその瞬間を待っています。

愛と光の中で